





WAC 農園 秋の味覚！さつまいも収穫！ もう一つの秋の味覚 柿！！ ピーマンまだまだ元気です！

6月頃に定植したサツマイモが大きく育ってくれました。掘るのは大変ですが、みんなで頑張って収穫しました。

石巻町小野田にある自然栽培の柿畑でたくさん収穫することが出来ました！甘くて、とても美味しいです！

秋になっても、ピーマンは元気です！毎日、大切に管理している証拠！

WAC アグリカフェ 食事をしながらミーティングができますよ！ご利用お待ちしております！









10月12日(木)ピアニストで豊橋市議会議員の鈴木智子サン他6名がランチミーティング。食事と会議を楽しみました。カフェには多目的室という個室があり会議などにもご利用頂けます。

10月21日(土)、22日(日)の2日間、豊橋まつりの観光物産博覧会にWAC号とWAC農園が出展しました。食べ歩き用の柿と農作物はさつまいも等を販売しました。天気も良く盛況でした。

今年のええじゃないか豊橋まつりにWAC号見参！いろいろな方とふれあうことができました！


生活介護 V i V i 生活介護

ファサードおハロウィン！ カボチャ、怪物、魔女もいっぱい！




今年もメンバー、支援員がアイデアを出し合ってハロウィンのファサード演出をしました。魔女も飛んでいますよ！

みんなで庭の草取りをしました！ きれいになって すっきり秋ですね。



秋晴れの絶好の天気の中、メンバー全員で庭の草取りを行いました。草取りは任せると新たなメンバーも加わりとてもキレイになりました。


お菓子の包詰め クリスマスシーズンに向けて大忙しの日々です！



内職はクリスマスシーズンに向け大忙しです。なつかしのクリスマスブーツに人気のお菓子を詰め込み包装しています。プレゼントをもらい喜ぶ姿が目に見えます！


おひさまこども保育園 企業主導型保育

可愛くハロウィン！作ること、踊ること準備してます！




街はハロウィン色！保育園でもハロウィンダンスを踊ったりと準備を進めています。業務へおどかしに行くのがワクワク楽しみです！

今は散歩が楽しいよ！神社参り、シャボン玉、砂遊び 外がいいよ！



暑さも落ち着きお散歩が楽しい日々です！神社にお参りに行って、シャボン玉や砂遊びを楽しみました！楽しい時間はいつもあつという間で、お部屋に戻るのがイヤになってしまいましたね！

小さい秋見つけた～！！ 1列に並んだキノコたちに大興奮！



お散歩では、秋を沢山見つけました！どんぐり、柿、トンプ、中でも1列に並んだ大きなキノコたち！子どもたちは見つけると大興奮、次の日に行ったら小さくなって、3日目にはいなくなっていました。キキキノコ キキキノコ～♪


グループホーム愛saku/ショートステイ

バリアフリー演劇『TOUCH～孤独から愛へ』鑑賞会。有志で出かけて来ました。何がバリアフリーなのか、改めて、考えさせられる舞台でした。



9月24日、豊川市御津文化会館ハートフルホールにて開催された、東京演劇集団風のバリアフリー演劇『TOUCH～孤独から愛へ』を、有志10名で観に行きました。演劇、というと、豊橋ではなかなか観に行く機会がないので、目の前で、生で演じる役者さんを観ることが、初めてに近いメンバーもいたと思います。で、このバリアフリー演劇というものは何か、という、要するに、障害があっても、理解できるような見せ方をしている演劇で、状況説明の字幕や、手話が付く。しかも、手話の方がその道のベテランで、めちゃくちゃキレがよく、舞台上で共演するわけです。さて、この演目、原題は、『孤児たち』といい、1985年にシカゴで上演され、オフロードウェイで絶賛を浴び、1987年には映画化された作品。作者のライル・ケスラーは、演劇を使って、リスクを負った子供たちや、精神科の患者さんや、ホームレスの人たちとワークショップを続けている、とか。いわゆる演劇療法ですね。内容は、親に見捨てられ、誰も信じられず、二人だけで生きている兄弟たちの住処に、見知らぬ紳士が紛れ込み、いっしょに生活することになるわけですが、同じ境遇で育った訳ありの紳士が、二人の兄弟に新しい世界をもたらす中で、孤独の中で生きてきた兄弟たちが、変わっていく。次第に心を開いたり、反抗を繰り返したりするが、最後に紳士が銃弾に倒れ死を迎える中で、彼を失って初めて、本当は、自分にとってかけがいのない存在だったことに気づき、抑えていた熱い感情と涙が流れ始める…、と言ったもの。舞台自体は、いろいろな仕掛けが多すぎて、長丁場になってしまい、肝心の心理描写や内容の落とし込みが略されてしまっ、形だけに集約されていたのが残念でしたが、作品の内容は、見終わって数日後くらいに、ズンッと重く脳裏に蘇るものがありました。ただ、障害というものは、その中に入っていない特別なものに見えるかもしれませんが、障害の種類にもよりますが、多くの当事者メンバーは、実はごく普通に観て感ずることができ、支援のもとで、普通に生活もできているので、配慮という仕掛けよりも、内容と演技重視で再度掘り下げ、練り上げ直したものを観てみたい気もしました。舞台美術の造形は洒落ていて、ビジュアル的には、見ごたえがあったと思います。ありがとうございました。

10月21日、昨年に引き続き、今年も全面開催された、“第67回ええじゃないか豊橋祭り・総踊り”。踊ってきましたよ。今年も駅前大通りのみの行列でしたが、参加人数は増えたみたい。ぎゅうぎゅう詰めで、全然前へ進まない。こんな総踊りも初めてですが、めちゃくちゃ大風で寒かった開始前とは異なり、踊っている間は、風もやみ、ほどよい涼しさ。逆に全然疲れなかった総踊りでした。我々wacメンバーも、事前練習やって、本番参加でがんばりましたが、途中リタイア組も出て、若い方々が疲れやすいことにも驚かされましたが、一方で、高齢メンバーが、元気元気。全然疲れを知らないお祭り好きで、血が騒ぐってあるんですね。今年は、福島県などからの視察参加もあり、とよはしの名物が、各都市で知られるのもいいかな、なんて思いました。来年も、踊るゾッ！！



↓グループホーム愛saku ラインアップ 写真左から①みんな乃郷②東田乃郷③三ノ輪乃郷④牛川乃郷⑤宮本乃郷



●自立へのステップ 「自立支援ホーム」単身、シェアホーム、シェルターも運営

クラブハウスWANATH いつもドアは開いています！！ 豊橋市地域活動支援センター

全国の事始め・お伊勢参りへ踊り狂う民衆が沸いた、“ええじゃないか”、事前資料もらって来ました。

豊橋名物・とよはし祭り総踊り。ワナスメンバーも参加しました。事前に、パンフレットと特製手ぬぐい、参加要領を受け取りに、市役所へ。この日は、市役所へ赴いて、記念撮影する、というのも、恒例になりつつあります。途中、新型コロナのおおりの受け中断されたものの、今年なんと第67回。67年も続いているとは…改めてびっくり。幕末の慶応3年、吉田宿に伊勢のお札が降ったことから始まった、という「ええじゃないか」が、あつという間に、全国に伝播。ええじゃないか、と踊り狂った民衆で、東海道が昼夜問わず埋め尽くされ、夜中から朝までも人で沸いた、とか。それが豊橋発なんて、いまだに信じられない感じはしますが、日本列島東海道のちょうど真ん中あたりの土地。割合と立地条件はいいのかな。しかし、豊橋祭りの総踊りにかける皆さんの心意気というのは、やっぱり特別ですね。市民皆が、総出で、隣合わせに意気投合しながら、この時ばかりは、皆仲間、という感じがいいですね。見学と踊りで参加したワナスメンバーも、やっぱり、祭りは、ええじゃないか！ですかね。

クラブハウス4つの権利

- 誰でも来ることができる
- いつでも帰ってくるることができる
- 誰からも必要とされる人間関係を築くことができる
- 誰からも必要とされる役割がある

